

スイーツ食べ 社員に就職相談

静岡文化芸術大で

「就cafe」開催

地元企業の社員との気軽な会話を通じて学生に就職

を考えてもらうイベント

「就cafe」が浜松市中央区の静岡文化芸術大であり、2、3年生ら63人が参加した。大学と市、浜松商工会議所の共催。採用ホームページだけでは分からない情報をじかに聞き、会社の魅力を感じてもらおうと初めて企画した。

参加への心理的なハードルを下げるため、イベントを告知するポスターの文言は「映えスイーツを食べた

い！ そんな軽いノリでいいんです」とあえて砕けた表現に。参加者には地元スイーツ店のマカロンやドーナツを用意した。

会場は学生食堂。市内の食品業や製造業、建築業など6社の担当者がそれぞれのテーブルに着き、自社の製品や仕事のやりがいなどを熱心に紹介した。通い慣れた場所のためか、学生からも「就職した理由を教えてください」と積極的に質問が出ていた。

「ポスターを見て、スイーツがあるから参加した」という2年生の女子学生は「知らない企業の話が聞けて勉強になった」と満足そうだった。（寺本康弘）



企業の担当者への話に聞き入る学生たち＝浜松市中央区の静岡文化芸術大で